

あしたの風

第97号

令和5年9月1日 発行
編集発行 秋田市教育委員会
生涯学習室

秋田市の生涯学習



ふるさとを未来につなぐプロジェクト
～河辺地区～

☆☆中央地区☆☆

アトリウム考

中央地区生涯学習奨励員 佐々木 孝

秋田市中心市街地の一角に、アトリオンという名称の建物があります。今日は、このアトリオンの由来について、語ろうと思います。

始めにお断りしておきますが、この建物の設計は私が行いました。私の職業は、建築家で、建築設計を主な業務としています。

設計を始めるにあたっては、秋田県の関係部長二人が、当時私が仕事をしていた東京にお出でになり、関東周辺のほか、富山や新潟にまで地域を拡げて、類似の建物を見学しました。

当時は余り例のない建築種ということもあり、秋田県側では、大分力こぶを入れていたようです。

さて、アトリオンの原義は、アトリウムです。今から二千年程前のギリシャにおいて、最初に建設されました。

今日良く話題になるギリシャを初めとした、バールカン諸国やイタリア、スペインのほか、対岸には、エジプト、リビア、アルジェリア等、多くの国々が、時に友好的に交流し、時には争ったりしながら、多様な歴史を繰り広げたことでしょう。

御承知のように、地中海は内海ですから、外洋のように荒れることは殆どなく、年間を通じて極めて穏やかな内海で、規模は違いますが丁度日本の瀬戸内海の様な状態だったと思われれます。

地中海での生活は、気候温暖な環境であることから、陽の差さない屋内の生活よりも、屋外での生活が遙かに快適であり、その屋外での生活の主要な要素として、広場（空間）がなくてはならない存在でした。

住宅敷地の真ん中に大きな空間を設けて、建築物の全ての室がその空間に開かれている状態、この空間が「アトリウム」です。インターネット検索等でも様々な画像が確認できますが、敷地の真ん中に設けられた空間は、様々な利用方法が考えられています。多数の身内や仲間の視線に囲まれた空間は、外部空間の内部化であり、気候温暖で、雨の少ない地中海沿岸では活用を極めたであろう事が、現在の彼地における佇まいから、十分うかがい知ることができるものです。



外部空間の内部化が演出されている



アトリオンの原義は2,000年前にさかのぼる

☆☆土崎地区☆☆

私の趣味は？

土崎地区生涯学習奨励員 吉田 弘子

職場を後にする日が刻々と。

そして、ようやくその日が…。

さあーこれからの時間をどうする？

友達から突然バラの苗が届きました。ネコさんには申し訳ないけど、ネコの額ほど無いか家の庭…どこに植えるの？取りあえず草取りから…。

そして二、三日後にまた他の友達からバラの苗が…。その後もまたバラの苗が…。

どうしてこんなに？友達曰く、「退職後にはバラのあるお庭を」と、私が話していたそうです。本人の記憶には全くありませんが…。

頂いたバラが咲きました。とても綺麗、可愛い、庭に出ると何とも言えない良い香りが漂ってきます。

その後もいろいろな花が増えて何とか庭らしくなり、私の趣味はガーデニングとなりました。

ある日、通りがかりのお店のウインドウに好みの手作りの器が目にとまりました。導かれるようにお店の中に入りました。そこでは陶芸教室が行われている最中。

作っている人の姿と、いろいろな小道具を使って形になっていくそれぞれの作品に感銘を受けました。世界に一つだけ、私だけの器を私も作ってみたいと二つ目の趣味になりました。

形にする前の粘土の色選び、こねる、空気を抜く等々の下準備がとても大事、でも大変。

出来上がった時の感動…と、まあ…いつかあーの妥協。

次は。友人からのビニールボールのお誘

いがありました。見学だけにでも来て：イヤ、行つたらまたハマってしまうと思いつつ見学、スポーツ嫌いではない私は、これもまた週一の仲間入りをし、ストレス解消になるかもおーと三つ目の趣味。運動そして汗を流し、お仲間と笑って：皆さんにもお勧めです。

そのバレーボールの先輩（お姉様）からの誘いで、古布や使わなくなった布きれでの小物作り。私は箸は持つけど針は苦手タイプ。主人のワイシャツのボタン付けが終わった暁には白シャツの一部が赤く（私の親指と人差し指の血が：）染まるというありさま。その情けない現実を伝えると、「最初は皆そう言うもの。まず教えるからやってみようよ：」優しいお姉様の甘いお言葉：イヤとは言えない私の性格。

手ぶらで良いからと誘われるがままにもう「くされたまぐら」状態。手を取り足を取り、口だけは自分の意思でも勝手に動きます。古布とタンスに眠っていた親が無けなしのお金で買ってきた着物を解体する等して出来上がった作品は、なんと言うことでしょう：とても可愛いウサギさんのお着姿：私にも出来たあー：。

この趣味は創作力とセンスが問われますが女子はハマってしまいます。

時間を有効に使うと、空いた時間に夜でも一人で出来る、創造力と指先の運動でボケ防止にも繋がるかと。試行錯誤で完成（？）出来た作品は、若かりし頃に着用したワンピースやブラウスを解体して作ったクリスマスツリーとリース。

ハマグリの会で作ったお内裏様とお雛様。昔の緋（かすり）で作ったフクロウのタペストリー等々。まだまだチャレンジするモノがあります。

が、今の私、まさかの脊柱管狭窄症：座るとおしりが痛い。増殖した趣味も、現在は休業状態となっています。



創作力とセンスが問われる趣味

☆☆東部地区☆☆

手づくりおもちゃと私

おもちゃコンサルタント 近藤 久子

広面にある「こぼと保育園」を定年退職すると同時に「手づくりおもちゃの会」（後におもちゃ工房リップルと改名）のサークルを立ち上げました。保育士、幼稚園教諭、地域の子育て支援に携わる方々に、子どもたちの遊びが豊かになるようお願い、身近な素材を使うなどして、手づくりおもちゃの伝達活動を始めました。秋田市社会福祉協議会の「のびのび子育て支援、出前講話」にグループで講師として登録し、地域の子育て支援グループや、子育てサークルに行っています。依頼があると、親子で手づくりおもちゃ、小さな劇場や、お話し会、おもちゃの広場等を行っています。保育士会、ファミリーサポートや子育てに関する研修、民生児童委員の研修等に、おもちゃの役割を伝え、実際に工作等の実技を行っています。

平成二十七年より「地域サロン事業を碓町内会としてとり上げてもらえないか？」と依頼があり、地域保健推進員、地域福祉協力員、民生児童委員の力を借りて「広面碓町内会ひまわりサロン」を開催することになりました。町内の人々のつながりを少しでも築いていきたいという思いで、年四回程度、懇談会を兼ねての研修会、物作り教室、音楽鑑賞会、体操、医師による講演会等々、町内の方が集える場づくりをしてきました。

また、東地区の「街中ふれあいサロンふらっとさん」のような誰でも気軽に立ち寄れる街中ふれあいサロンでも、私の出来る範囲で「物づくり、おもちゃづくり」を教えています。

これからも地域の皆さんと一緒に、住みよい地域づくりに取り組んで参りたいと考えております。



町内の方が集える場づくりをしてきました

☆☆ 河辺地区 ☆☆

河辺から、ふるさとを
未来につなぐプロジェクト

古民家コミュニティ代表 遠山 桂太郎

二〇一四年、家族で東京から秋田市河辺に移住し九年が経ちました。河辺の豊かな自然と優しい近所の方々に囲まれて幸せに暮らしています。しかしこの素敵な町も消滅可能性都市といわれています。

そこで私たちはこの町を次世代に繋ぐため活動を始めました。国際教養大学サークル「会う輪」と一緒に小中学生の英語体験、無農薬無肥料で米や野菜を育てる農業体験、世代も国籍も超えた地域交流会。



おもちゃを研修等に活用

学生達が町に訪れ、地域の方から田植えを教わり、がっこをごちそうになりと交流を重ねていくうちに「卒業しても秋田のために貢献したい！」と秋田に残りいろいろな地域で活躍している学生も増えてきました。人口減少ワースト県の秋田には本当にありがたいことです。

こうして活動が続いていると人数も増え自宅ではまかないきれないと思っていたところ、地域の方のご厚意で築二〇〇年を超える立派な古民家を譲り受けることになりました。

しかし流石に築二〇〇年。改修するには数千万円はかかるとのこと。もちろんそのような資金はなく、学生、地域の方々、仲間たちと共にDIYでコツコツと直しています。何年かかるかわかりませんが、こうして多くの方と思いを一つにしながらか古民家を創る工程を大切にしています。

改修中の古民家は、味噌作り、みご箒作り、英語体験の他、皆さまの語らいの場として活躍しています。

楽しい時を共有し人との繋がりを感じ、なにより古民家特有の居心地の良さに癒されます。

今後は宿泊施設として、世代も国籍も超えた交流地点として、この町をにぎやかに彩ってくれるでしょう。

この町から秋田の楽しい未来を創造していきたいと思えます。

※ご興味のある方はぜひ遊びにいらしてください。

古民家コミュニティ

秋田市河辺神内字万事神24

遠山連絡先 〇九〇―一三五七―〇八〇七



世代・国籍を超えた交流会



築200年を超える立派な古民家

連載

デジタル化のメリットについて

秋田市デジタル化推進本部

本部長 北嶋英樹

先日、秋田市とALL-Aの「秋田市出前講座」はじめてのスマートフォン教室」に講師補助で参加しました。今回の受講は六〇代から七〇代の四名で、スマートフォン（以下「スマホ」）の基本操作（電話やカメラ）やグーグルマップを使った「目的地へのバス・電車時刻の出し方」、ストリートビューで「スカイツリー周辺の道路を歩く」などを受講されました。

この「出前講座」は、二、四人のグループが楽しみながら、かつ互いが教え合えるよう企画したもので、他に「LINEの使い方」もあり、こちらも好評です。

現在、多くのサービスがスマホで利用できます。例えば、今週の天気予報だけでなく、雨雲レーダーでは今後の雨雲の動きを知ることができます。また、電子書籍を使えば、字が小さくて読みづらい本の字を大きくして快適に読むこともできます。グーグルレンズを使えば、目の前の花の写真から名前が出てきます。

このように、今の時代は、デジタル化のメリットという状況自体を通り越し、いかに自分に合ったサービスをスマホ上で使いこなして、生活を便利にするか、という段階になっています。つまり、スマホが避けて通れない時代になってきています。秋田市では、市民の方が市役所に来なくても手続きができる「デジタル市役所」を目指していま

すが、市民の方がスマホを使える手助けとなるよう「出前講座」や一人一人の疑問に答える「スマホ相談窓口」、講習会形式の「スマホ講座」などを実施しています。ぜひ、受講していただき、学ばっかけにいただければと思います。



スマホ相談窓口風景



互いが教え合う出前講座の様子

表彰者紹介

令和五年度

秋田県生涯学習奨励員協議会表彰

富樫 智恵子(中央)	小野 勲夫(土崎)
佐藤 美枝子(土崎)	村井 雅子(土崎)
加賀谷 みち子(土崎)	林 多実(土崎)
千蒲 隆(北部)	柴田 澄子(河辺)
戸井田 和明(河辺)	竹下 潮子(雄和)

令和五年度

市の記念日式典における表彰

加賀美 譲(土崎)	小野 勲夫(土崎)
保坂 せい子(土崎)	佐藤 美枝子(土崎)
村井 雅子(土崎)	加賀谷 みち子(土崎)
林 多実(土崎)	千蒲 隆(北部)
柴田 澄子(河辺)	戸井田 和明(河辺)
堀井 好子(雄和)	

右記の方々が表彰されました。おめでとうございます。今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

※敬称略





県生涯学習奨励員協議会表彰の様子

編集後記にかえて

七月の世界平均気温が観測史上最高と予測される中、国連総長は「地球沸騰」なる言葉を提示した。

いわゆる「想定外の出来事」については編集後記でも繰り返し触れてきたところだが、大雨、異常な暑さなど、数十年に一度や百年に一度などが毎年のように続き、想定外が日常化するという現象が起きている。私たちはこの先どのような心構えをするべきなのだろうか。

いろいろ調べていると、将棋の羽生善治氏は「想定内の範囲内の事態への対応策をきちんと考えておくことが、そのまま想定外の事態に対するよき善後策につながることが多い。想定できることはちゃんと想定しておくことが不測の事態の起こる確率を低くしてくれるし、それが起きた時の対処も適切に進められる」ということを述べており、得心した。

何事も事前の準備が肝要という当たり前なことではあるが、日常に忙殺されがちな昨今、できることから始めて、頭のすみっこに「予測」の言葉を持ちつづけることで大切な命を守りたいと願う日々である。

(石塚)



編集委員

(秋田市生涯学習奨励員)

- 佐々木 孝(中央) 佐藤 美枝子(土崎)
- 佐藤 清子(西部) 坂田谷 義憲(東部)
- 塚田 朋子(南部) 鎌田 礼子(北部)
- 石塚 小枝子(河辺) 秋元 真美(雄和)



『あしたの風』第九十七号

発行年月日

令和五年九月一日

編集発行

秋田市教育委員会生涯学習室

秋田市山王一丁目一番一号

電話 〇一八―八八八―五八一〇

この広報誌は

発行部数 一、一〇〇部

配布方法 無料配布